

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 12 月 12 日作成)

小委員会名	メーソンリーユニット選定手法研究小委員会	主 査 名：千歩 修 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：長谷川直司
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・メーソンリーユニットの形状・品質・使用方法などの整理 ・メーソンリーユニット選定上の問題点、使用状況の調査 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：千歩 修 (北海道大学) 幹事：石井克侑 (太陽セメント工業)、長谷川拓哉 (北海道大学)、 委員：井上芳生 (UR リンケージ)、川上勝弥 (小山高専)、古賀一八 (福岡大学)、高橋和雄 (太陽セメント工業)、根井 浩、長谷川直司 (建築研究所)、眞方山美穂 (国土技術政策総合研究所)、三田紀行 (職業能力開発大学校)、守 明子 (名古屋工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：各種コンクリートブロック目地構法の耐久性検討 WG (2014.4～2016.3) 目的：様々な目地構法を考慮した「有効かぶり厚さ」をはじめとする耐久性評価の考え方について検討する。	
2014 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. メーソンリーユニットの形状・品質・使用方法などを整理した。 2. メーソンリーユニット選定上の問題点の調査の結果、新しい目地構法について検討した。(なお、検討等は今後も継続が必要)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 予算不足のため、関連委員会と同じ日に委員会を開催している。このため、十分な時間が取れない等の問題がある。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。